



小樽天狗山ロープウェイから眺める雲海

第76期 報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

北海道中央バス株式会社

■株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに第76期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で緩やかな回復基調が続きましたが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動への懸念により、先行きは不透明な状況で推移しました。道内の経済においては、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震の影響により、一時的に観光客が減少したものの、徐々に回復がみられたほか、個人消費の増加や堅調な民間設備投資を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。

このような経営環境の中、当社グループは、地域社会に密着した事業を積極的に展開するとともに、経営効率を高め収支改善や経営体質の強化など、企業価値の向上に取り組んだ結果、別掲のとおり業績となりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、不安定な原油価格、英国のEU離脱問題や米国の経済政策への懸念などにより、道内・外の景気の先行きは不透明であり、さらに中・長期にわたり、少子高齢化、人口減少が進む中、あらゆる分野において「雇用の維持・確保」「事業の在り方」等、その対応を迫られており、引き続き厳しい状況が続いております。また、「第4次産業革命」と言われる情報通信技術の飛躍的な発展により、国民生活の仕組みが急速に変化する中で、今後の事業経営に様々な影響を与える状況にあります。

このような情勢のもと、当社グループは、バス事業にあっては「安全輸送と旅客サービスの提供」、その他の事業にあっては「安全・安心な商品・サービスの提供」を通じて、地域社会と共に歩み貢献する企業集団として、グループの経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を有効活用し、グループの総合力と挑戦心・スピード感を持って経営にあたるとともに、企業倫理活動を徹底し、地域社会から信頼されるよう弛まぬ努力を重ねてまいります。

今後もコーポレートガバナンス（企業統治）体制の強化を図るとともに、企業価値の向上と中央バスグループのさらなる発展を期し、尽力する所存でございます。

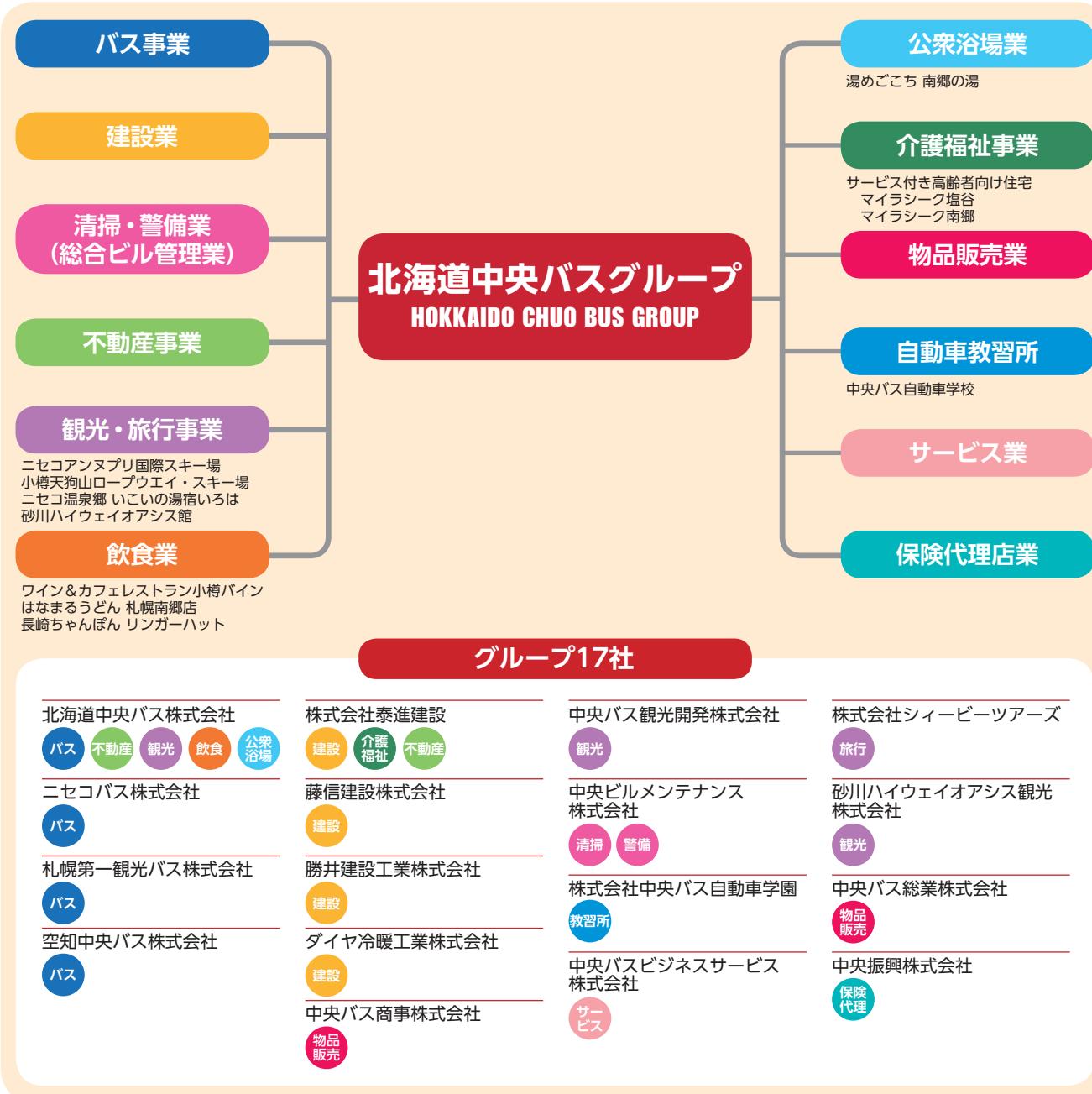
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月

代表取締役会長 平尾 一 彌

代表取締役社長 二階堂 恭 仁

■中央バスグループの概要（令和元年6月現在）



■ 営業の概況



旅客自動車運送事業

乗合運送事業においては、訪日外国人旅行者（インバウンド）の増加に対応すべく、国の国際観光振興に関する施策を受け、道内のバス事業者と連携して外国人向け周遊パスの対象路線を拡大するとともに、定期観光バスにおいて多言語音声案内のコースを増やすなど、受入体制の強化を図りました。また、多言語対応のバスロケーションシステムを札幌市内南方面の路線バス、新千歳空港連絡バス、一部の都市間高速バスに導入するとともに、車内の無料Wi-Fiの導入を拡大するなど、バスサービスの向上を図りました。国内外の利用客の増加が続く新千歳空港連絡バスにおいては、札幌都心とを結ぶ便数を増やし、都市間高速バスにおいても、札幌市と帯広市を結ぶ便数を増やし、利便性の向上を図りました。これらにより、不採算路線対策としての減便による減収を上回る増収効果がありましたが、北海道胆振東部地震の影響による運休等が大きく影響し、乗合運送事業は減収となりました。貸切運送事業は、受注の減少に加え、北海道胆振東部地震や台風の影響によるキャンセルもあり、減収となりました。

売上高 **21,667**百万円
(前期比 292百万円減 1.3%減)



新千歳空港連絡バス



定期観光バス

売上高 **10,758**百万円
(前期比 1,273百万円減 10.6%減)



共和町 宿内橋補修工事

売上高 **2,968**百万円
(前期比 72百万円減 2.4%減)



建設業

建設業は、受注競争が激化する中、受注高、完成工事高とも減少しました。



特別養護老人ホーム新築工事



清掃業・警備業

清掃業・警備業は、受注の減少により減収となりました。



不動産事業

売上高 **802**百万円
(前期比 20百万円増 2.7%増)

不動産事業は、新規の賃貸契約を獲得したことなどにより増収となりました。



観光事業

売上高 **1,861**百万円
(前期比 292百万円増 18.6%増)

ニセコアンヌプリ国際スキー場は、山麓部の初心者向けリフトの利用客が増加しました。小樽天狗山スキー場は、夏期間の天候不順や台風、さらには北海道胆振東部地震の影響がありましたが、冬期間に外国人観光客が大きく増加し、ロープウェイの利用客が増加しました。ニセコ温泉郷「いこいの湯宿いろは」は、北海道胆振東部地震の影響がありましたが、政府の復興支援策「北海道ふっこう割」の効果もあり、個人客が増加しました。道央自動車道に直結した観光施設の砂川ハイウェイオアシス館は、北海道胆振東部地震の影響がありましたが、札幌圏を含めた地元客にもより多く利用してもらえるよう平成29年度に改修・整備を図ったことにより、個人客が大きく増加しました。



いこいの湯宿いろは



ファーマーズカフェ空の森（砂川ハイウェイオアシス館）



その他の事業

売上高 **3,917**百万円
(前期比 63百万円減 1.6%減)

介護福祉事業は、サービス付き高齢者向け住宅の入居者数が増加しました。自動車教習所は、平成29年度の期中に開始した技能講習事業が、増収に寄与しました。旅行業は、団体旅行の取扱いが大きく減少する中、北海道胆振東部地震の影響によるツアーの催行中止もあり、減収となりました。



中央バス自動車学校

■ 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成30年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成31年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	13,392	14,100
固定資産	28,590	27,034
有形固定資産	23,257	22,298
無形固定資産	151	147
投資その他の資産	5,181	4,588
資産合計	41,982	41,135
負債の部		
流動負債	7,018	6,463
固定負債	4,359	4,229
負債合計	11,378	10,692
純資産の部		
株主資本	29,857	29,840
その他の包括利益累計額	407	235
非支配株主持分	338	367
純資産合計	30,604	30,443
負債及び純資産合計	41,982	41,135

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,337	2,354
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,432	△ 2,274
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 151	△ 176
現金及び現金同等物の期末残高	8,478	8,381

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

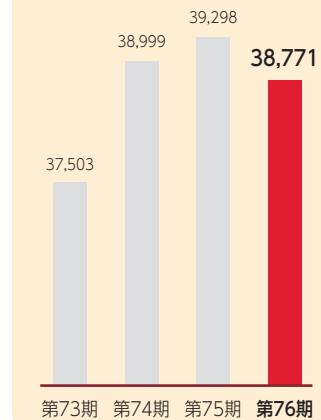
科 目	前連結会計年度 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで)
売上高	39,298	38,771
売上原価	34,815	34,618
売上総利益	4,482	4,153
販売費及び一般管理費	3,066	3,131
営業利益	1,415	1,021
営業外収益	166	176
営業外費用	1	2
経常利益	1,580	1,196
特別利益	41	305
特別損失	111	887
税金等調整前当期純利益	1,509	613
法人税等	584	426
当期純利益	925	187
親会社株主に帰属する当期純利益	899	158

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結業績ハイライト

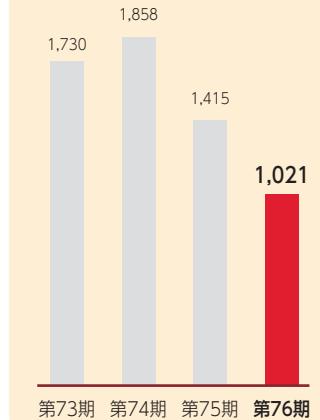
売上高

387億71百万円



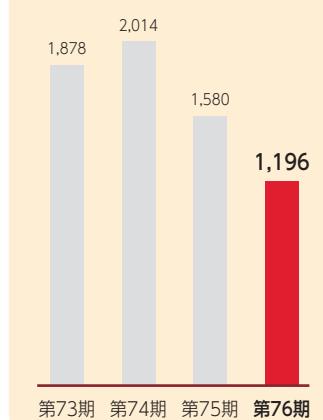
営業利益

10億21百万円



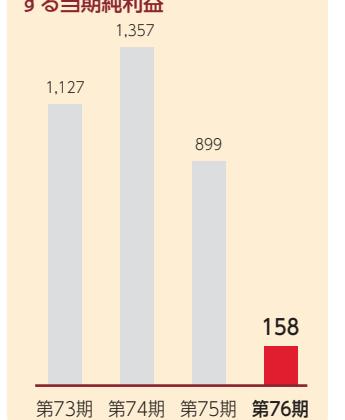
経常利益

11億96百万円



親会社株主に帰属する当期純利益

1億58百万円



■ 個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第75期 (平成30年3月31日現在)	第76期 (平成31年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	6,456	6,717
固定資産	27,058	25,538
資産合計	33,515	32,256
負債の部		
流動負債	3,957	3,612
固定負債	5,244	4,458
負債合計	9,202	8,070
純資産の部		
株主資本	23,342	23,439
評価・換算差額等	970	746
純資産合計	24,313	24,186
負債及び純資産合計	33,515	32,256

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第75期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)	第76期 (平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで)
売上高	22,513	22,352
売上原価	20,637	20,591
売上総利益	1,876	1,761
一般管理費	1,179	1,196
営業利益	697	564
営業外収益	515	540
営業外費用	4	4
経常利益	1,208	1,099
特別利益	38	295
特別損失	225	929
税引前当期純利益	1,020	465
法人税等	263	192
当期純利益	757	272

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 当社バス事業の取り組み

■ 新千歳空港連絡バスの増強

平成29年度の新千歳空港利用者数は、2,271万人と4年連続で過去最多を更新しており、これに伴って新千歳空港連絡バス利用者も年々増加傾向となっております。特に都心系統での利用が増加しており、平成30年4月に運行便数を増回したことに続き、さらに平成31年4月に他社と共同で6便を増回いたしました。

また、平成30年3月に7両、平成31年4月にさらに7両新車を導入しサービス向上に努めております。



■ 定期観光バスの新コース設定

令和元年度は、「積丹浜寿し海鮮丼と積丹・余市コース」と「ハイランドふらの・ファーム富田・四季彩の丘・青い池コース（多言語案内システム搭載コース）」の2コースを新設いたしました。近年の外国人のお客様の増加に対応し、多言語案内コースの充実を図っております。

■ 施設への無料Wi-Fi環境整備

平成30年度までに、当社高速路線全線で無料Wi-Fiがご利用いただけるようになりました。令和元年度は、当社ターミナル施設（札幌・小樽・岩見沢）における無料Wi-Fiサービス開始を予定しております。

■ バスロケーションシステムの導入



平成31年3月に札幌地区南方面路線及び新千歳空港連絡バス、小樽号、旭川号等の一部高速路線でサービスを開始いたしました。

バスロケーションシステムは、お客様がバスの運行状況をリアルタイムに知ることができるもので、待ち時間の目安がわかるなど、お客様の利便性が向上しています。

令和元年度は、札幌地区北方面路線、千歳、江別市内路線及び残る全ての高速路線に導入する予定です。

■ 外国人向け周遊パスについて

平成27年度の試行発売から始めた外国人向け周遊パス“Inter City Bus Pass”は、さらなる利用エリアの拡大を図り、予約制路線も利用可能な“Hokkaido Budget Bus Pass”を平成31年3月から発売開始いたしました。今後においても、北海道観光の様々なニーズに応えられるように利用可能エリアの拡大に努めてまいります。

■ プライベートカーテンの設置



長距離都市間路線を運行する1人掛け3列シート車全車両に「プライベートカーテン」を設置いたしました。長距離移動時に個室のような空間で周りを気にせず、おくつろぎいただけます。

関連事業のご案内



ニセコアンヌプリ国際スキー場

■ニセコアンヌプリ 国際スキー場

ニセコアンヌプリ国際スキー場は、ニセコ連峰の主峰、ニセコアンヌプリの裾野に広がる4つの広大なスキー場の中にあり、ゲレンデがワイドでロングコースが魅力のスキー場です。スキーやスノーボード初体験の方から上級者まで、それぞれのレベルに合わせて世界に誇る上質なパウダースノーや雄大な自然を存分に楽しむことができます。近年は豪州のほか北米や東南アジア方面からの来場客も増加しており、国際色豊かになっています。また、アンヌプリゴンドラは夏から紅葉が見ごろの秋にかけて運行しており、蝦夷富士と呼ばれる羊蹄山、洞爺湖や有珠山、噴火湾などの壮大な眺望に加え、登山

やトレッキングも楽しむことができます。星空案内人が星や星座にまつわる話でニセコの星空をガイドするスターウォッチングツアーも実施しています。スキー場周辺には、直営の「いこいの湯宿いろは」をはじめ泉質の異なる様々な温泉があり、スキーのみならず、観光、グルメ、温泉巡りなど四季を通じてお楽しみいただけます。

- 所在地：虻田郡ニセコ町字ニセコ485番地
- お問い合わせ先：0136-58-2080

■いこいの湯宿いろは

ニセコアンヌプリ国際スキー場に隣接する「いこいの湯宿いろは」は、天然保湿成分豊かな美肌の湯が自慢です。また、和と洋が調和したモダンな雰囲気を楽しむことができ、地元食材を使った四季折々の料理をご用意。喧噪から離れた自然の中で、静かにゆっくりとお過ごしいただけます。全室にWi-Fiも完備し、様々な旅のニーズにお応えします。皆様のご来館をお待ちしております。

- 所在地：虻田郡ニセコ町字ニセコ477番地
- お問い合わせ先：0136-58-3111



いこいの湯宿いろは 露天風呂



小樽天狗山 夜景の日



小樽天狗山ロープウェイ

■小樽天狗山ロープウェイ・ スキー場

小樽のシンボリック存在の小樽天狗山。日本の代表的な観光地の魅力を評価する「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」にも1つ星で紹介されました。ロープウェイは通年運行で、山頂から、日中は小樽市街や石狩湾、遠く暑寒別連峰や積丹半島を一望でき、夕暮れから夜にかけて色あいが変化する「夕景」、そして「北海道三大夜景」と言われる、宝石を散りばめたような美しい「夜景」をお楽しみ頂けます。また、冬は港が見えるスキー場としても親しまれております。山頂には、全国の天狗の面を集めた「天狗の館」や鼻をなでると願い事が叶うという「鼻なで天狗」、草原を滑走する「天狗山スライダー」、「天狗山神社」、「スキー資料館」、「シマリス公園」、「展望レストラン」などがあります。

- 所在地：小樽市最上2丁目16番15号
- お問い合わせ先：0134-33-7381

■砂川ハイウェイオアシス館

道央自動車道砂川サービスエリアに直結した砂川ハイウェイオアシス館は、観光客も地元客も気軽にご利用頂ける施設です。館内では、空知の新鮮野菜などを集めた産直市場「空知の産直そらいちマーケット」、レストラン「森の食卓ミングル」、北海道のお土産品を取り扱っている「オアシスプラザ」、空知の美味しいがモットーのファーストフード店「ファーマーズカフェ空の森」、牛の串焼きが人気のファーストフード店「オアシスキッチン」、地元のお菓子店「北菓楼」が営業しています。また、2階では、屋内遊具広場を開設し好評を頂いております。ご利用は高速道路の上下線だけでなくUターンが可能で、一般道からもご入館できます。

- 所在地：砂川市北光336番地7
- お問い合わせ先：0125-53-2460



空知の産直そらいちマーケット



森の食卓ミングル



砂川ハイウェイオアシス館

関連事業のご案内



小樽バイン

■ ワイン&カフェレストラン 小樽バイン

小樽市の歴史的建造物に指定されている当社本社の建物を活用した店舗で、時代の流れを感じながら、旬の地場食材を使った季節感あふれるメニューと道産ワインが楽しめます。また、ショップでは地元「おたるワイン」を中心に、北海道産のワインを多数取り揃えております。落ち着いた雰囲気の中で、くつろいだ時間をお過ごしください。

- 所在地：小樽市色内1丁目8番6号（日銀金融資料館斜め向かい）
- お問い合わせ先：0134-24-2800



湯めぐこち 南郷の湯

■ 湯めぐこち 南郷の湯・はなまるうどん 札幌南郷店

「湯めぐこち 南郷の湯」の外観は明治45年建造の当社本社をイメージし、ゆったりとした落ち着いた雰囲気、バリアフリーとなっております。敷地内には本場讃岐うどんを手軽にお楽しみいただける「はなまるうどん札幌南郷店」があります。スタッフ一同、笑顔で、皆様のご来店をお待ちしています！

- 所在地：札幌市白石区南郷通14丁目北3番地
- お問い合わせ先：011-846-4126（南郷の湯） 011-846-8700（はなまるうどん）



長崎ちゃんぽん リンガーハット

■ 長崎ちゃんぽん リンガーハット

昭和49年、長崎県宿町の1号店開店以来、現在全国で600を超える店舗を展開する長崎ちゃんぽんの専門店です。当社では、平成23年にイオン苫小牧店を開業し、現在4店舗を運営しております。国産野菜のみを使用する等、食の安全・安心にも積極的に取り組んでおり、塩風味のスープは、濃厚かつすっきりとした味わいで、中太麺とよく絡みます。是非、ご来店ください。

- (当社直営4店舗) ●アリオ札幌店 Tel: 011-733-5122 ●イオン発寒店 Tel: 011-668-0855
●イオン苗穂店 Tel: 011-788-1103 ●イオン苫小牧店 Tel: 0144-52-1166

■ サービス付き高齢者向け住宅 マイラシーク南郷/マイラシーク塩谷

「マイラシーク南郷」と「マイラシーク塩谷」は、介護サービス事業所を併設した高齢者向けの賃貸住宅です。「自分らしく生きる いつまでも安心の“わが家”」の共通コンセプトに基づき、お住まいの皆様が毎日心豊かに安心して暮らし続けられるサービスの提供に努めています。特に「マイラシーク南郷」は、クリニックや調剤薬局の医療系テナントを併設して各種の介護、看護サービスを提供する体制を整えているほか、「南郷の湯」を毎日無料で利用できるなど、地の利を生かした独自の特色あるサービスを提供しています。

- (マイラシーク南郷) ■所在地：札幌市白石区南郷通14丁目北3番20号 ■お問い合わせ先：011-866-0800
(マイラシーク塩谷) ■所在地：小樽市塩谷2丁目2番21号 ■お問い合わせ先：0134-64-1185



マイラシーク塩谷

■ 安全・安心への取り組み

■ 運輸安全マネジメント

運輸安全マネジメント制度に基づき、当社では安全方針を定め、「人命尊重・安全最優先」の理念のもと、安全管理体制の構築、輸送の安全性の向上に取り組んでおります。

毎年「輸送の安全に関する目標」を策定し、計画、実行、評価、改善のPDCAサイクルを活用しながら、目標達成に向けさらなる安全意識の向上に努めております。

【安全方針】北海道中央バス株式会社

人命尊重・安全最優先
“より安全・安心なバスを目指して”

1. 私たちは、「輸送の安全の確保が事業経営の根幹であり、社会的使命である」ことを認識し、向上心を持ってPDCAサイクルを活用して、輸送の安全性の向上を図ります。
2. 私たちは、関係法令・規則を遵守します。
3. 私たちは、人命を尊重し、人身事故の絶滅を図るため、次の2項目を最重点の取り組みとして、安全運転に努めます。
 - 車外人身事故を無くすため、右左折時は一旦停止による安全確認を徹底します。
 - 車内人身事故(戸拭き事故含む)を減らすため、お客様への声かけ等を徹底します。

平成30年6月28日

代表取締役社長 二階堂 恭仁

当社安全方針

■ 安全教育

お客様に安全・安心なバスを提供できるよう運転技能や接客サービスの向上を目的とした安全教育を実施しております。当社グループの中央バス自動車学校での研修も活用し、新規採用時から隔年で勤続年数別に継続して実施、長年にわたり乗務員の安全運転やサービスの習熟度向上を図っております。



中央バス自動車学校コース内で実施するパイロンスラローム教習

■ 事故防止・安全対策

■交差点右左折時における歩行者等への安全確認を確実に実施し事故を防止するため、横断歩道手前等での一旦停止（または最徐行）に取り組んでいます。バス後部にステッカーを掲出し、取り組みをお知らせしております。



右左折時一旦停止（最徐行）ステッカー

■バス走行中の車内移動による転倒事故防止を目的として、バス車内床面に注意喚起ステッカーを貼付、また、平成28年より導入を進めている液晶運賃表示器OBCビジョンでも映像表示し、お客様が視認しやすい呼びかけを行っております。



運賃表示器（OBCビジョン）による注意喚起

■ 乗務員コンテスト

平成28年から、乗務員の士気向上と、輸送の安全確保、顧客満足度（CS）の向上を目的とした乗務員コンテストを開催、運転操作・接客・車両点検の実施状況を確認し、今後の改善につなげています。

平成30年からはグループバス会社も参加し、選抜された乗務員が集い、日頃培った技能を披露し、安全・安心の意識を高める良い機会となっております。



乗務員コンテスト

■ 環境活動・社会貢献活動への取り組み

■ 環境活動への取り組み

● グリーン経営認証の取得

下記営業所が交通エコロジー・モビリティ財団による「グリーン経営認証」を取得しています。

北海道中央バス	真栄営業所、西岡営業所、石狩営業所、大曲営業所
ニセコバス	本社営業所
札幌第一観光バス	本社営業所
空知中央バス	深川営業所



● 地域社会と一体となった環境保護活動

北海道中央バスでは、毎月5日と20日を「環境推進日」、また、北海道中央バスグループでは、毎年4月20日と10月20日を「中央バスグループ・クリーンアップデー」として、各地域で事業所周辺の清掃活動などを行っています。また、地域や各種団体が開催する清掃活動や植樹会などにも参加しています。



■ 「環境にやさしいバス」を知っていただくための取り組み

● ペイントバスやステッカーでPR

「BUS DE ECO.」(バスでエコ)と車体に塗装されたペイントバスを運行しているほか、社内公募により決定したキャッチフレーズ「身近なバスで…エコライフ」のステッカーを車体に掲出し、バスが地球環境にやさしい乗り物であることを広くPRしています。

● 「エコ教室」の開催

小中学校などでハイブリッドバスなどを使って「エコ教室」を開催し、子供たちにバスの利用が環境にやさしいことを伝えています。



■ 社会貢献活動への取り組み

● 乗車マナー教室、職場体験学習などの実施

北海道中央バスグループは、地域社会の一員であることを強く意識し、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。学生を対象にした乗車マナー教室や職場体験学習、また、ご高齢の方へのバス車内事故防止の呼びかけなどを各地域で実施しています。



乗車マナー教室



職場体験学習



車内事故防止の啓発活動イベントへの参加



札幌市環境報告書展エコトークで当社環境活動を講演

■ 会社の概況

会社概要 (平成31年3月31日現在)

商号 北海道中央バス株式会社
 設立 昭和19年1月27日
 資本金 21億円
 主要な事業内容 旅客自動車運送事業、不動産事業、ホテル業、飲食業、公衆浴場業

従業員数 1,674名
 バス車両数 1,133両
 免許路線料 5,215軒

役員 (令和元年6月27日現在)

代表取締役 会長	平尾 一 彌
代表取締役 社長	二階堂 恭 仁
取締役 専務執行役員	加藤 幸 嗣
取締役 専務執行役員	大森 正 昭
取締役 専務執行役員	泉山 利 彦
取締役 常務執行役員	橋本 雄 二
取締役	戸井 宣 夫
取締役	岡田 浩 司
取締役 (社外)	杉江 俊 太郎
取締役 執行役員 (ニセコ在勤)	菊井 隆 則
取締役 執行役員	安田 徹
取締役 執行役員	阿部 一 三
常勤監査役	平間 俊 一
監査役 (社外)	富岡 公 治
監査役 (社外)	森川 潤 一

執行役員	柴田 隆 夫
執行役員	久郷 智 廣
執行役員	臼井 広 宗
執行役員	桑島 靖 明
執行役員	中川原 清 行
執行役員	伊藤 正 道
執行役員	田下 義 則

■ 株式の状況

株式の状況 (平成31年3月31日現在)

発行可能株式総数 …………… 6,000,000株
 発行済株式の総数 …………… 3,146,000株
 株主数 …………… 1,556名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
1単元の株式数	100株	
基準日	定時株主総会の議決権 期 末 配 当	3月31日 3月31日
公告掲載方法	電子公告 (下記ホームページに掲載いたします。) http://www.chuo-bus.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、官報に掲載して行います。	
上場取引所	札幌証券取引所 (証券コード9085)	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
お問い合わせ先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) (ご利用時間9:00~17:00 土・日・祝日を除く)	

株式に関する手続き・お問い合わせについて

当社の株式に関する住所・氏名等の変更、配当振込指定・変更、単元未満株式買取請求及び相続等のご相談、お手続きは、以下のとおりです。

■ 証券会社に株式を預けている場合
 株主様が口座を開設されているお取引証券会社にお問い合わせください。

■ 上記以外の場合
 特別口座管理機関である三井住友信託銀行にお問い合わせください。

※株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様のご所有株式は、三井住友信託銀行の「特別口座」に記録されております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の三井住友信託銀行フリーダイヤルにお問い合わせください。

■ 株主優待制度のご案内 (令和元年6月現在)

下記発行基準日の最終の株主名簿に記録された株主の皆様へ、ご所有株式数に応じて、株主優待割引券または株主優待乗車証引換券及び株主優待利用券を発行いたします。

1. 株主優待割引券

・株主優待乗車運賃半額券

所有株式数	発行枚数	優待内容
100株以上 300株未満	30枚 (年間60枚)	下記の(1)または(2)いずれかの方法で優待割引いたします。 (1) 株主優待乗車運賃半額券1枚で、1名様の乗合バス運賃を、バス車内で現金によるお支払いに限り半額といたします。(端数は10円単位に切り上げさせていただきます。) ・高速バス路線(全区間)・予約制長距離路線・共同運行路線・定期観光路線・期間限定路線を除く、当社及び当社グループ会社の乗合バス路線でご使用いただけます。
300株以上 500株未満	60枚 (年間120枚)	
500株以上 700株未満	90枚 (年間180枚)	(2) 株主優待乗車運賃半額券15枚で、当社が指定する高速バス路線のみ、当社ターミナル等の窓口でご購入する場合に限り、普通乗車券1枚または往復乗車券1枚を半額といたします。(端数は10円単位に切り上げさせていただきます。)
700株以上 990株未満	120枚 (年間240枚)	

・株主優待高速バス路線半額割引券

所有株式数	発行枚数	優待内容
990株以上 1,980株未満	2枚 (年間4枚)	株主優待高速バス路線半額割引券1枚で、当社が指定する高速バス路線のみ、当社ターミナル等の窓口でご購入する場合に限り、普通乗車券1枚または往復乗車券1枚を半額といたします。(端数は10円単位に切り上げさせていただきます。)

2. 株主優待乗車証

当社株式990株以上を所有する株主の皆様に対して、990株につき優待乗車証引換券1枚を送付いたします。

乗車証は、引換券と引換えに、下記のとおり発行いたします。

引換券1枚…1路線(または地域市内線)乗車証1枚を発行
(ただし、高速バス路線を除きます。)

引換券2枚…1路線(高速バス路線)乗車証1枚を発行

引換券4枚…全路線乗車証1枚を発行

- ・当社及び当社グループ会社路線に適用いたします。
- ・予約制長距離路線、共同運行路線、定期観光路線、期間限定路線ではご使用になれません。
- ・ただし、高速バス路線のうち、札幌-旭川間、札幌-小樽間、札幌-室蘭間、札幌-苫小牧間、札幌市内各地-新千歳空港間は、当社運行についてのみご乗車いただけます。
- ・乗車証は記名式で、記名者ご本人様のみご使用可能です。

3. 株主優待利用券 (100株以上ご所有の株主様)

- ・お食事ご優待券 (1,000円相当) 1枚
<使用可能店舗> ワイン&カフェレストラン小樽バイン、はなまるうどん札幌南郷店、長崎ちゃんぽんリンガーハット(アリオ札幌店・イオン発寒店・イオン苗穂店・イオン苫小牧店)
- ・「ニセコアンヌプリ国際スキー場」または「小樽天狗山スキー場」ご優待引換券 2枚
<引換対象券> ニセコアンヌプリ国際スキー場 リフト・ゴンドラ券(8時間券)、小樽天狗山スキー場 リフト・ロープウェイ券(1日券)
※夏期間につきましては、ニセコアンヌプリゴンドラまたは小樽天狗山ロープウェイ往復乗車券と引換えいたします。
- ・定期観光バスご優待券 (1,000円相当) 1枚
- ・ニセコ温泉郷「いこいの湯宿 いろは」日帰り入浴ご優待券 2枚

4. 発行基準日等

種類	発行基準日	有効期間
株主優待割引券または 株主優待乗車証引換券	3月31日	6月1日から 11月30日まで
	9月30日	12月1日から 翌年5月31日まで
株主優待利用券	3月31日	6月1日から 翌年5月31日まで

北海道中央バス株式会社

本社 〒047-8601 小樽市色内1丁目8番6号
札幌本部 〒060-0041 札幌市中央区大通東1丁目3番地
電話 本社 0134-24-1111 (代表)
お客様ご意見・ご要望デスク 011-221-5325
URL: <http://www.chuo-bus.co.jp/>

